

つるのおんがえし

つる=Kranich, おんがえし=Dankbarkeit zeigen/ Revanche

5 あるむらに、よへいという わかものが いました。ある日
よへいは、山へ きました。木の したで バタバタと お
とが します。みると 山みちに 一わの つるが いました。
つるは けがを していました。よへいは、つるを たすけま
した。つるは げんきに なりました。そして よろこんで
そらに とんで きました。

5 山みち=Bergpfad
けがをする=sich verletzen

10 その日から一しゅうかんが すぎました。そのばん うつく
しい むすめが、よへいの いえに きました。むすめの な
まえは つうです。つうは よへいの せわを します。おい
しい ごはんを つくります。よく はたらきます。つうは、
よへいの つまに なりました。二人は、とても しあわせで
した。

10 (X の) せわをする=sich (um X) kümmern

15 ある日 つうが、よへいに いいました。

15 めのを おる=weben

「わたしは、とても うつくしい めのを おることが で
きます。いまから めのを おります。そのあいだは へやの
なかを みないでください」

20 よへいは やくそくしました。つうは、一人で おくの へや
に はいって、とを しめました。カタリ コトリと おとだけ
が します。よへいは、そのへやの なかを みませんでした。

20

三日が すぎました。つうが へやから でてきました。たい
へん うつくしい ぬのを もっていました。そして よへいに
いいました。

「このぬのを まちに もって行って、うってください」

5 よへいは ぬのを もって まちへ きました。まちの 人
たちは ぬのを みて たいへん おどろきました。いままで
みんな、こんな うつくしい ぬのを みたことは ありません
でした。かねもちの 人が そのぬのを かいました。かねもち
は たくさんの おかねを よへいに わたしました。そして

5

かねもち=reicher Mensch

10 「こんな ぬのが もっと ほしい」

10

と いいました。

よへいは とても よろこんで いえに かえりました。つう
も よろこびました。よへいは つうに

「こんな ぬのを もっと おってほしい」

15 と いいました。つうは よへいに

15

「ぬのは もう おることが できません」

と いった ことわりました。けれども よへいは なんども
なんども

「ぬのを おってくれ」

20 と たのみました。

20

おってくれ=web bitte doch für mich! (eine spezielle Art von Bitte-Form,

Verb-TE-Form + <くれ= mach das bitte für mich/ meinetwegen!)

とうとう つうは、よへいに

とうとう=schließlich

「では もう一まいだけ おります」

と いいました。

「でも ほんとうに これで おわりですよ。みないでくださいね」

5 と 言って、つうは おくの へやに はいりました。カタリ コトリと おとが します。 5

三日が すぎました。つうは へやから でてきません。五日が すぎました。やはり つうは へやから でてきません。ときどき カタリ コトリと おとが します。

10 よへいは へやの なかが みたく なりました。へやの とを すこし あけて なかを みました。 10

へやの なかに一わの つるが いました。つるは じぶんのはねを ぬいて ぬのを おっています。つうは どこにも いません。よへいは とてもおどろいて とを しめました。

はね= Feder, Flügel

15 つうが へやから でてきました。とても つかれた ようすです。てに うつくしい ぬのを もっています。 15

つうは

「わたしは ほんとうは にんげんでは ありません。あなたに たすけてもらった つるです。ごおんがえしが したかったので、あなたの ところに きました。

ごおんがえしをする= Dankbarkeit zeigen/ für etw. revanchieren

20 いつまでも あなたの そばに いたかった……。けれども 20

あなたは やくそくを まもって くれませんでした。あなた
に つるだと しられたので、もう いっしょに くらすことは
できません。これからは このぬのを わたしだと おもってく
ださい。さようなら」

5 と 言って ぬのを よへいに わたしました。つうは つる
に なって そらへ とびあがりました。よへいは

「つう、つう、いかないでくれ」

と さげびました。

よへいの こえが きこえたのでしょうか。つるは よへいの
10 いえの うえを なんとか とんで まわりました。そして コ
ウ コウと ちいさい こえで かなしそうに なきました。

つるは だんだん たかく とんで いきました。どんどん
ちいさく なっていきました。

15

20

しられる= gemerkt werden (Passiv von する)

5

とびあがる= emporfliegen

10

だんだん たかく= immer höher; どんどん ちいさく= immer
kleiner